



横浜トリエンナーレって？

「横浜トリエンナーレ」は、横浜市で3年に一度開かれている美術の大きな展覧会です。2001年に始まり、今年で8回目です。今回は、中国の北京に住むリウ・ディンとキャロル・インホワ・ルーが「野草：いま、ここで生きてる」というテーマで、世界中からさまざまなアーティスト（芸術家）の作品をえらびました。ぜひ会場に来て作品に出会い、たくさんのおもひを発見してください。

リウ・ディンとキャロル・インホワ・ルーからのメッセージ

「野草」には、わたしたちがたいけんしたように、ひとつの世界がえがかれています。たとえば、きめ細かなすなや、はげしいあらし、小川や岩、夜空や遠くはなれた場所などです。そこでわたしたちは、昔と今にひそむ不安や、いたみに出会い、花びらと星の光を見るのです。わたしたちがもらったこのおくり物を、あなたにおくりします。あなたが野草のように、ふみつけられても立ち上がり、自分の思いを守りつづけることをねがって。



●美術館がはじめての人も大かんげい
美術館で作品に向き合って、そのパワーを感じてみよう。

●全部みなくてもOK 好きなところからみよう
会場にはたくさんのおもひの作品があります。
「みたいな」と思ったものからじっくりみてみよう。

●わからなくてもだいじょうぶ よくみてみよう
少しみただけでは、わからないものもあるかもしれない。
でもナゾはナゾのままでもだいじょうぶ。
わからないことも楽しんでおもう！

●だれかと話してみよう
作品をみて気づいたことや感じたことをだれかと話してみよう。
きっと新しい発見があるよ。



みんなが気持ちよく過ごすために気をつけたいこと

作品を大切に
作品やケースには
さわらないようにしましょう

ゆっくり歩こう
走るとあぶないよ

声の大きさに
気をつけよう
静かにみたい人もいるよ

メモはえんぴつで
ボールペンや
シャープペンシルは
作品をきずつけてしまうかも

